

【扶養申立書の記入例】

扶 養 申 立 書

組合員氏名	共済 太郎	所属所名	〇〇市立〇〇中学校
-------	-------	------	-----------

1 認定を受けようとする者

氏名	共済 花子	性別	女	続柄	実母	年齢	〇〇 才
生年月日	明・大・ <b>昭</b> ・平	〇 年	〇 月	〇 日	従前加入保険	国民健康保険	
職業 (在学名)	無 職						
【年間総収入額の内訳】							
1、遺族年金	有・ <b>無</b>	年額	円	※ 収入があるものについては、金額を確認できる書類を添付すること。			
2、障害年金	<b>有</b> ・無	年額	990,100				
3、私的年金 (個人年金)	<b>有</b> ・無	年額	300,000				
4、上記1、2、3以外の年金	<b>有</b> ・無	年額	418,000				
事業・農業等収入	有・ <b>無</b>	年額	円				
給与収入 (アルバイト等を含む)	有・ <b>無</b>	月額	円				
雇用保険料	有・ <b>無</b>	日額	円				
資産収入 (地代、家賃、利子等)	有・ <b>無</b>	月額	円				

2 認定を必要とする事情

① 認定対象者の状況

扶養の事実発生日	〇 年 〇 月 〇 日
配偶者の有無	<b>有</b> ・ 無 (有の場合、配偶者の年収: 100万 円)
組合員との居住区分	同居 ・ <b>別居</b>
	別居の場合・・・仕送り額: 〇〇〇〇 円/月 別居先での同居人の有無: <b>有</b> ・ 無 (有の場合、同居人の続柄 <b>夫</b> )

※ボーナス分からも仕送りをしている場合は、月平均の金額を記入してください。

② 扶養の状況 (現在の扶養の状況をできるだけ詳しく記入し、組合員以外に扶養義務者がいる場合は、その者が扶養できない理由も詳しく記入すること)

現在、母親は父親と2人で生活していますが、父親も年金収入が100万円しかなく、私が〇年〇月から毎月〇万円、ボーナス分 (夏・冬) 各〇万円を仕送りしており、母は主として、私の収入によって生活しています。私には弟がいますが、弟は他県に住んでいて、母親への定期的な送金はしていません。

上記のとおり、認定を受けようとする者は、私が扶養していることを申し立てます。

平成 〇 年 〇 月 〇 日

公立学校共済組合長崎支部長 様

組合員氏名 共済 太郎

